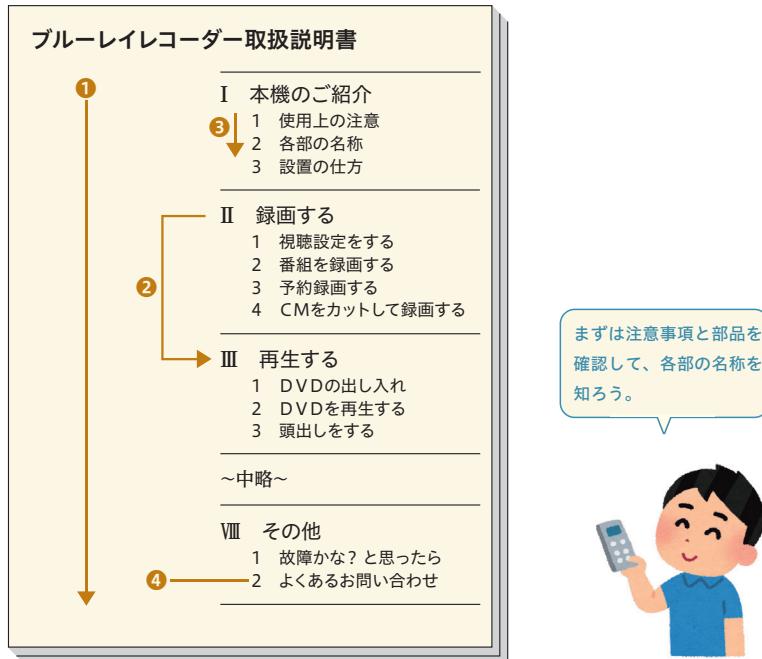


実用的文章の特徴

説明書

説明書とは、機器の使い方やサービスの利用の仕方を記載した文書である。説明書には、読めば全ての機能を正しく使うことができるわかりやすさや、ユーザー（使い手）の疑問や困った点をすぐに解決できる配慮などが求められる。

以下は、ブルーレイレコーダーの取扱説明書の構成例である。ユーザーがどのような順番で機械を扱うかを想定した工夫がされている。



① 「I 本機のご紹介」から「VIII その他」への構成

→ 情報が、ユーザーの行動に合わせた時系列の順になっている。

② 「II 録画する」から「III 再生する」への構成

→ ユーザーにとって必要性の高い動作（録画→再生）から順に情報を配列している。

→ 「II 録画する」と「III 再生する」内の情報も同じく、必要性の高い順に配列している。

③ 「I - 1 使用上の注意」から始まる説明

→ 使用するにあたっての最優先事項から、説明が始まっている。

→ 「各部の名称」を知らないとその後の説明に差し支えるので、二番めの項目が「I - 2 各部の名称」になっている。

④ 最後が「VIII - 2 よくあるお問い合わせ」

→ 説明が終わったあとに出てくるであろう質問を予想して、最後に示している。